



# 名大トピックス

No.128 平成16年1月30日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016  
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

## 名古屋大学「東京フォーラム」が開催される



### CONTENTS

- |                                 |    |                                |    |
|---------------------------------|----|--------------------------------|----|
| ・名古屋大学「東京フォーラム」が開催される.....      | 2  | ・博物館が地下鉄開通記念コンサートを開催する.....    | 10 |
| ・環境総合館竣工記念式典が開催される.....         | 4  | ・農学国際教育協力研究センターが2003年度第3回オープン  |    |
| ・名古屋大学医工連携シンポジウムが開催される.....     | 6  | セミナーを開催する.....                 | 11 |
| ・地下鉄名城線「砂田橋 - 名古屋大学」間が開通する..... | 7  | ・総長等表敬訪問一覧（平成15年10月～12月）.....  | 11 |
| ・大学院生命農学研究科がアジア農科系大学連合理事会       |    | ・年末の屋外清掃が実施される.....            | 12 |
| を開催する.....                      | 8  | ・第26回名古屋大学 OB・職員懇談会が開催される..... | 12 |
| ・年代測定総合研究センターと大学院文学研究科考古学研究室が   |    | [ INFORMATION ]                |    |
| 第5回考古科学シンポジウムを開催する.....         | 9  | ・イベント等の開催予定一覧.....             | 13 |
| ・博物館が第29回特別講演会を開催する.....        | 10 | ・本学関係の新聞記事掲載一覧（15年12月分）.....   | 13 |

## ②汪兆銘（汪精衛）の梅

本学大幸地区（名古屋市東区）の大幸医療センター内には、「汪兆銘の梅」と呼ばれる二本の梅の木があります。これらの梅は、もとは鶴舞地区（名古屋市昭和区）の医学部中庭に植えられていたものですが、医学部建物の改修工事等の関係で移植されたものです。

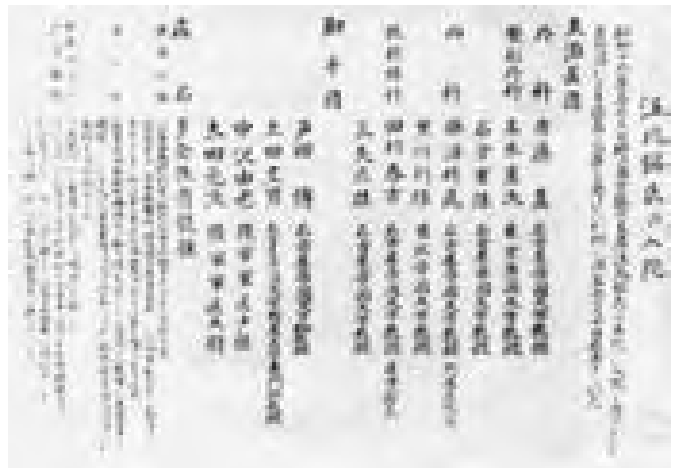
汪兆銘（1883 - 1944）は中国広東省生まれの政治家で、清朝末期に日本へ留学し法政大学を卒業しています。彼は、孫文の中国革命同盟会のメンバーで、国民党左派の重鎮でした。孫文の死後、汪は国民政府主席として国民党政権を指導しましたが、日中戦争後は親日派として、対日派の蒋介石と対立しました。1940（昭和15）年には日本の支援により南京国民政府を樹立しました。

1943年、汪は、南京の日本陸軍病院で以前受けた凶弾の摘出手術を受けました。しかし、手術後の経過が思わしくなかったため翌年3月に来日し、名古屋帝国大学附属病院で再手術を受けました。このことは、暗号「梅号」と呼ばれて一般には公表されませんでした。しかし、彼の病気は多発性骨髄腫であったため、治療の甲斐もなく同年11月に附属病院内で死亡しました。

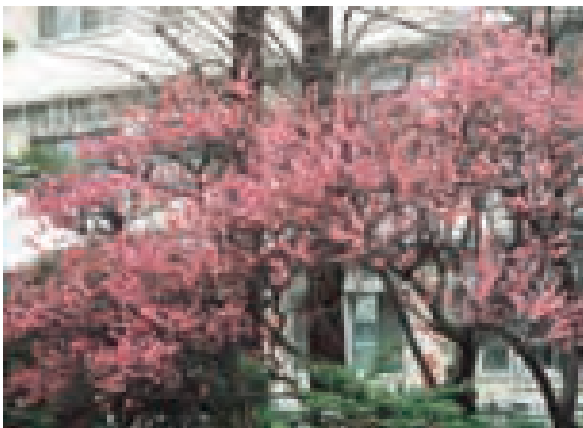
「汪兆銘の梅」は、汪の死後、治療に対する感謝として遺族から寄贈されたものです。彼が梅をこよなく愛していたためといわれています。梅は当初三本ありましたが、のちに一本が枯れたため現存するのは二本となっています。



汪兆銘（附属図書館医学部分館所蔵）



汪兆銘の死亡を伝える掲示（附属図書館医学部分館所蔵）



鶴舞地区に植えられていた頃の「汪兆銘の梅」



名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、  
大学史資料室（052-789-2046、nua\_office@cc.nagoya-u.ac.jp）へご連絡下さい。



# 名大トピックス

No.129 平成16年2月27日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016  
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

## AC21全学シンポジウムが開催される




国際学術コンソーシアム（AC21）推進室は、1月8日（木）、大学院国際開発研究科多目的オーデトリウムにおいて、AC21全学シンポジウム「名古屋大学の国際化 - AC21をいかに活用するか?」を開催しました。

このシンポジウムは、本学が真に世界水準の大学として認められるためには、いかなる周辺条件を整える

必要があるのか、また、AC21をどのように利用していくべきかについて、その期待と本学の国際機能の足元からの改善の両面から議論するために開催されたもので、当日は、本学の教職員及び大学院学生など約130名の参加があり、会場の多目的オーデトリウムは満員となりました。

### CONTENTS

- |   |  |
|---|--|
| ・ AC21 全学シンポジウムが開催される..... 1  | ・ 年代測定総合研究センターが体験学習を開催する..... 9            |
| ・ 全学同窓会と産学官連携推進本部が講演会を共催する..... 3   | ・ 農学国際教育協力研究センターが第5回オープンフォーラムを開催する..... 10 |
|  ・ 有機デバイス関連界面の解明と制御<br>関 一彦..... 4 | ・ 職員のためのセクシュアル・ハラスメント防止研修会が開催される..... 10   |
| ・ 大学入試センター試験が実施される..... 6   | ・ 財務会計システムの全体概要説明会が開催される..... 11           |
| ・ 名古屋大学情報系 COE が第2回社会情報基盤のための音声・映像の知的統合シンポジウムを開催..... 7   | [ INFORMATION ]                            |
| ・ 博物館で国立大学博物館等協議会が開催される..... 8  | ・ イベント等の開催予定一覧..... 12                     |
|   | ・ 本学関係の新聞記事掲載一覧（16年1月分）..... 13            |

本連載第8回（No.115）において、本学東山キャンパスのシンボルの一つである豊田講堂（設計者：横文彦。1962年度日本建築学会賞受賞）が1960年にトヨタ自動車工業株式会社（当時）から建設寄付を受けた建物であることについて触れました。今回は、その完成式典等について紹介します。

豊田（とよだ）講堂は1960年4月に竣工しましたが、その完成記念式典は、同年5月9日に行われました。本資料室の保管資料によると、式典は「開式の辞」「音楽演奏」「式辞」「設立経緯について」「工事経過報告」「寄付目録贈呈」「感謝状贈呈」「総長あいさつならびに感謝状授与」「文部大臣祝辞ならびに感謝状授与」「来賓祝辞」「祝電披露」「万才三唱」「閉式の辞」の順で行われ、式典後には同講堂ロビーで祝賀会が催されました。

写真（左下）は、完成式典の際に、本学とトヨタ自動車工業株の連名で用意された記念品（木製ブックエンド）です。各サイズが横幅16cm×奥行10cm×高さ15.5cmの豊田講堂をデザインとした特製品ですが、その製作者名や製作数量などは明らかではありません。なお、同講堂の完成記念品としては、このブックエンドのほかに名大生協が作成した「豊田講堂完成・第1回名大祭 記念絵葉書」（4枚組み）があります。



豊田講堂完成式典



音楽演奏



ブックエンド



生協作成の記念絵葉書

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、  
大学史資料室（052-789-2046、nua\_office@cc.nagoya-u.ac.jp）へご連絡下さい。



# 名大トピックス

No.130 平成16年3月31日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016  
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

総長及び副総長の退任のことば

## 6年間の総長時代を振り返って

総長 松尾 稔



学内外のご関係の皆さま、特に名古屋大学構成員の皆さま、私は来る平成16年3月31日をもって名古屋大

学総長の任期6年を満了し、退官となります。日本の国立大学にとっては、法人化を睨みつつ、この6年間大改革、大変革の時代、それは明治の学制発布、第二次世界大戦敗戦後の新制大学の発足に次ぐ第三の大浪、まさに「激動の時代」というに相応しい時期でした。この6年がどういう時期であったかは、後に歴史が判断することだと承知しております。とは言え、私には皆さまの、当初はやむなく外発的な、しかしそのうちに力強い内発的、献身的な努力と協力に基づく改革により、それまで“眠っていた獅子”ともいうべき名古屋大学が、モコモコと動き出し、立ち上がろうとしているかにみえます。皆さまのご尽力に心からお礼申し上げます。

外国からの留学生を含む多くの若き学生たちや、同僚と言うべき教職員の方々はもちろん、同窓会を通じての多くの先輩や各界の人々、さらには大学運営に多

### CONTENTS

- |  |    |  |    |
|--|----|--|----|
| ・総長及び副総長の退任のことば                                |    | ・地球水循環研究センターがアジアの水循環に関する衛星データ利用ワークショップを開催..... | 21 |
| ・松尾総長「6年間の総長時代を振り返って」.....                     | 1  | ・大学院多元数理科学研究科が韓国高等科学院数学部と学術交流協定を締結.....        | 21 |
| ・奥野副総長「副総長退任に寄せて」.....                         | 6  | ・博物館が第30回特別講演会を開催.....                         | 22 |
| ・伊藤副総長「名古屋大学の皆様に感謝して」.....                     | 8  | ・農学国際教育協力研究センターが第4回オープンセミナーを開催.....            | 22 |
| ・佐々木副総長「退任に当たって 思うこと、そのままに」.....               | 10 | ・平成15年度名古屋大学語学研修が終了.....                       | 23 |
| ・後藤副総長「名古屋大学の新しい発展に向けて」.....                   | 12 | [ INFORMATION ]                                |    |
| ・個別学力検査が実施される.....                             | 14 | ・イベント等の開催予定一覧.....                             | 24 |
| ・地下鉄4号線砂田橋・名古屋大学間開通記念コンサートが開催される.....          | 16 | ・本学関係の新聞記事掲載一覧(16年2月分).....                    | 25 |
| ・東海・北陸地区地域貢献シンポジウムが開催される.....                  | 17 |  |    |
| ・平成15年度名古屋大学卒業・修了留学生を送る夕べを開催...                | 18 |  |    |
| ・太陽地球環境研究所が海外で初めての国際会議を開催.....                 | 19 |  |    |
| ・年代測定総合研究センターが第16回タンデトロン加速器質量分析計シンポジウムを開催..... | 20 |  |    |

本連載第9回(No.116)でも述べましたように、本学東山キャンパスの古川総合研究資料館(旧古川図書館)は、故古川為三郎(日本ヘラルド映画株式会社社長)・志ま御夫妻から建設資金の寄付をいただいて、1964年に建てられたものです。

附属図書館の建設経費は約2億円と見積もられ、地元官民各界から資金援助をうけて建設する計画でしたが、なかなか資金繰りがつきませんでした。そのようななか当時(1962年頃)の名古屋市水道局長・松見三郎さんが、千種区長時代に親交のあった古川為三郎さんのご自宅(千種区内)にお願いに上がり、為三郎さんは2億円のうち1億円の寄付を約束されました。当時事業を拡大していた為三郎さんには、個人で援助できる金額としては、1億円がやっとだったようです。

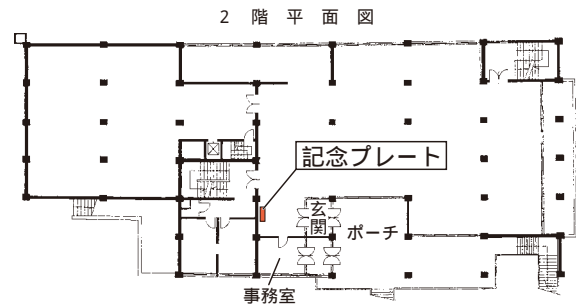
ところが松見さんが帰宅した後、為三郎さんの妻志まさんが、残りの1億円について「その1億円私が出しましょう。大学の図書館といえば、明日の日本を背負う若い人が勉強するところです。そんな人を育てるなら、私の財産など惜しくもありません。さあどうぞ使ってください。」と、預金通帳・株券などをご自分の金庫から持ち出されました。これに対し為三郎さんは「これは、元へ戻しときなさい。わしは土地を売ってでも、合計2億円にして、名大へ渡そう」と答えたそうです。

翌日、当時の名古屋大学総長勝沼精蔵が古川さん宅を訪ね、あらためて寄付の話を受けました。勝沼総長が帰ったあと、古川さん宅の玄関には勝沼総長の靴がそのまま残っていたそうです。1億円と思っていたのが2億円全額と、そこで初めて聞いた勝沼総長が喜んで帰った様子が推測されます(以上、小橋博史『獅子奮迅 古川為三郎伝』より)。

旧古川図書館=現在の古川総合研究資料館(博物館)を玄関から入ると、正面の壁に古川為三郎・志ま御夫妻の記念プレートが掲げられています。そこには「この図書館は本学の教育と研究に資するため古川為三郎氏、志ま夫人の篤志によって寄贈されたものである」と、志ま夫人の名前も刻まれており、このエピソードの信憑性を印象づけています。



記念プレート



博物館内図面



東山キャンパス



古川為三郎・志ま夫妻(1960年頃)

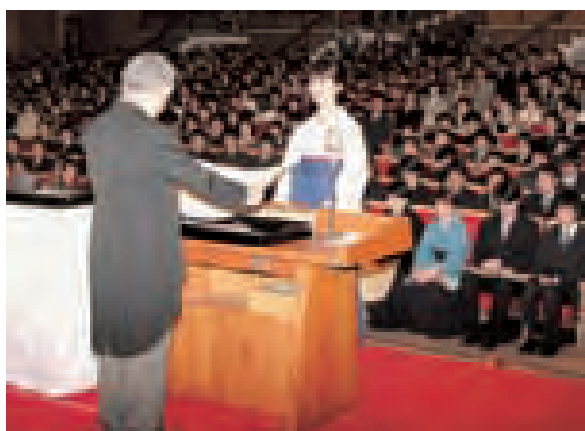
名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、  
大学史資料室(052-789-2046、nua\_office@cc.nagoya-u.ac.jp)へご連絡下さい。



# 名大トピックス

No.131 平成16年4月20日発行 国立大学法人名古屋大学総務企画部総務広報課 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016  
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

## 平成15年度卒業式が挙行される 新たなるキャッチアップ - 負の遺産を超えて -



### CONTENTS

・平成15年度卒業式が挙行される.....	2	・訃報 飯島宗一元学長逝去.....	20
・総長の辞(2004年大学院修了式).....	3	・遠山前文部科学大臣が本学を視察.....	21
・総長の辞(2004年学部卒業式).....	8	・博物館が平成15年度地域貢献特別支援事業を実施する.....	22
・来賓祝辞.....	13	・公益信託田島毓堂語彙研究基金が設立される.....	23
・第 期名古屋大学運営諮問会議(第4回会合)が開催される...	15	・太陽地球環境研究所が陸別町と社会連携連絡協議会を開催...	24
・エコトピア科学研究機構設立プレシンポジウムが開催される...	16	・博物館が「おもしろ博物学～東海から学ぶ～」を開催.....	25
		・法人化に向けての準備状況に関する説明会が開催される...	25
		[ INFORMATION ]	
		・イベント等の開催予定一覧.....	26



・「糖鎖」の謎に挑む

北島 健..... 18

本学の東山キャンパス用地は、名古屋帝国大学が創設された1939年に取得されました。そして、1942年4月から6月にかけて、工学部と理学部が東山キャンパスへの移転を行っています。その当時は、四谷通を挟んで、西側（写真1の⑤）部分に工学部校舎、東側の高台（写真1の④）部分に理学部校舎が建てられていました。また、理学部校舎の南側（写真1の③）部分には「東山運動場」がありました。

名大史ブックレット2『名古屋大学 キャンパスの歴史1』において紹介されていますように、本学東山キャンパスには「緑のトンネル」と呼ぶことができる道があります（写真2）。この「緑のトンネル」は、四谷通三丁目交差点から四谷通沿いに少し南へ進んだ所に入口があり、そこから工学部5号館・環境総合館、理系食堂・グリーンサロン東山を経て、農学部校舎へと抜けています（写真1の②部分）。

この「緑のトンネル」は、東山キャンパス整備以前の耕地地区画整理の際に作られた道で、本来は鏡池の北側から学生会館の南側を通る道（写真1の①部分）から続く道でした。当時、この道には樹木がほとんどありませんでしたが、初代渋沢総長による「緑の学園」構想に基づき、植樹が進められたのでした。写真3には、高台に建てられた理学部校舎の手前に、植樹されて間もない樹木（＝「緑のトンネル」）がみられます。

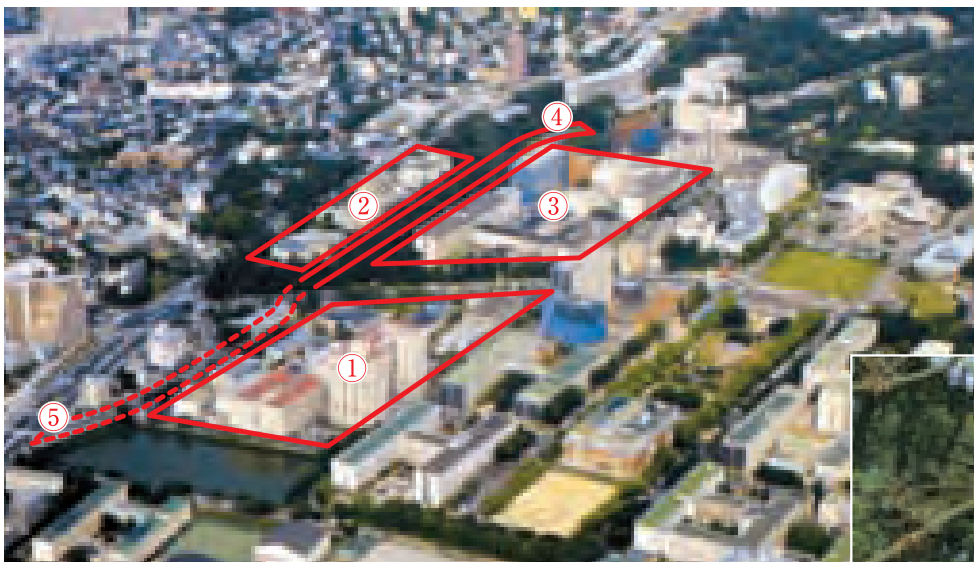


写真1：東山地区航空写真



写真3：1942年当時の東山キャンパス

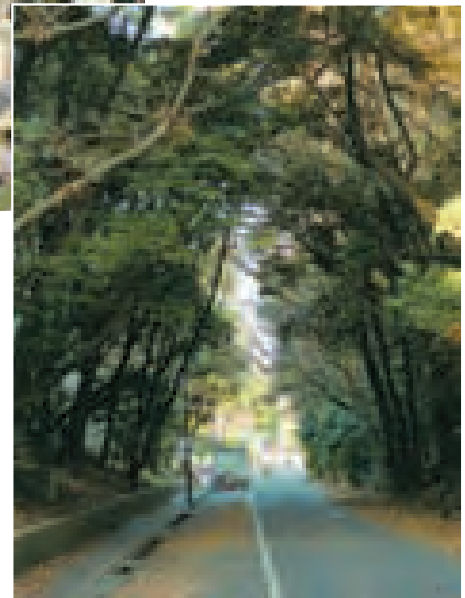


写真2：「緑のトンネル」

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、  
大学文書資料室（052・789・2046、[nua\\_office@cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)）へご連絡下さい。






# 名大トピックス

No.132 平成16年5月10日発行 国立大学法人名古屋大学総務企画部総務広報課 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel 052 789-2016  
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

## 国立大学法人名古屋大学がスタート



### CONTENTS

・ごあいさつ 総長 平野眞一.....	2	・東山キャンパス合同竣工記念式典を挙行.....	22
・国立大学法人名古屋大学がスタート.....	3	<b>新コーナー</b>	
・第1回経営協議会が開催される.....	6	キャンパスクローズアップ 野依記念物質科学研究館.....	24
・国立大学法人名古屋大学の運営組織.....	7	・博物館野外観察園セミナーハウスの看板上掲式が行われる...	26
・国立大学法人名古屋大学役員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員一覧.....	8	・大学院文学研究科が公開シンポジウムを開催.....	27
・理事・総長補佐の職務担当.....	9	・農学国際教育協力研究センターが2003年度第5回オープンセミナーを開催.....	28
・国立大学法人名古屋大学の組織・機構.....	10	・総長等表敬訪問一覧(平成16年1月～3月).....	28
・平成16年度入学式が挙行される.....	11	・永年勤続者表彰式及び退職者懇談会が開催される.....	29
・総長の辞(平成16年度大学院入学式).....	12	[ INFORMATION ]	
・総長の辞(平成16年度学部入学式).....	15	・本学関係の新聞記事掲載一覧(平成16年3月分).....	30
・来賓祝辞.....	18		
 生物活性分子をつなぐ 有本 博一.....	20		

## ②5 野依教授ノーベル化学賞受賞 記念樹・記念碑と記念施設

2001年12月、本学理学研究科の野依良治教授（現・独立行政法人理化学研究所理事長）が、米国のウィリアム S. ノウルズ氏、K パリー・シャープレス氏とともに、ノーベル化学賞を受賞したことは記憶に新しいことだと思います。野依氏の受賞がノーベル賞創設100周年という記念すべき年の受賞でもあったことは、本学のみならず日本にとっても非常に喜ばしいことであったといえるでしょう。

本学博物館の前庭には、野依氏のノーベル賞受賞を記念した記念樹と記念碑があります。その記念樹はアスナロ（翌檜）で、「学生がいつか野依教授のようになろうと夢を持ってほしい」との願いが込められています。また、スウェーデン産の御影石で作られた記念碑には、受賞の理由となった不斉触媒「BINAP」のモデル図とともに、野依氏直筆の「研究は瑞々しく、単純明快に」という文字が刻まれています。その記念植樹と記念碑除幕式は、2001年12月28日に行われました。

なお、現在、本学東山キャンパスには、野依氏のノーベル賞受賞にちなんだ二つの記念施設も建設されています。一つは「野依記念物質科学研究館」（本号掲載記事参照）、もう一つは「野依記念学术交流館」と命名されています。



ノーベル化学賞賞状



記念碑



東山キャンパス



東山キャンパス

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、  
大学文書資料室（052-789-2046、[nua\\_office@cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)）へご連絡下さい。



# 名大トピックス

No.133 平成16年6月30日発行 名古屋大学総務企画部総務広報課 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel (052)789-2016  
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

## 名誉教授称号授与式・懇談会が開催される



**特集**

新名誉教授のことば(4～8頁)

### CONTENTS

・名誉教授称号授与式・懇談会が開催される.....	2	・平成16年度第1回全学教育科目担当教員FDを開催.....	21
・特集 新名誉教授のことば.....	4	・博物館が第5回中学生のためのネイチャーウォッチングを開催...	22
・21世紀 COE プログラム ORIUM が小柴昌俊講演会を開催...	9	・太陽地球環境研究所がシンポジウム「宇宙はおもしろい」を開催...	23
・第2回経営協議会及び第1回総長選考会議が開催される...	10	・附属図書館が2004年春季特別展を開催.....	24
キャンパスクローズアップ 野依記念学術交流館.....	12	・博物館が野外観察園の見学会を初めて開催.....	25
・名古屋大学医学部21世紀 COE プログラム「神経疾患・腫瘍の統合分子医学の拠点形成」がシンポジウム等を開催...	14	・博物館が第31回特別講演会を開催.....	25
・鮎京教授の「21世紀の『開発支援と法』研究」が平成16年度先端研究拠点事業に採用される.....	15	・農学国際教育協力研究センターが2004年度第1回オープンセミナーを開催.....	26
		・平成16年春の叙勲受章者決まる.....	26
		・理事・監事の紹介.....	27
		・新任部局長等の紹介.....	30
		・平成16年度名古屋大学公開講座.....	35
		[ INFORMATION ]	
		・イベント等の開催予定一覧.....	39
		・本学関係の新聞記事掲載一覧(平成16年4・5月分).....	40



・創造のプロセスを探る

岡田 猛.....

・羽多野技術職員が化学工学会研究功労賞を受賞.....	18
・エコトピア科学研究機構の看板上掲式が行われる.....	19
・今年度の大学見学が始まる.....	20

# ちょっと名大史

## ②6 「名大」マンホールカバー

梅雨の季節になって、傘を手放せない日が多くなりました。雨の日に傘をさして歩く時、つい足元に視線が向けられます。今回は、学内のマンホールカバーについて紹介します。

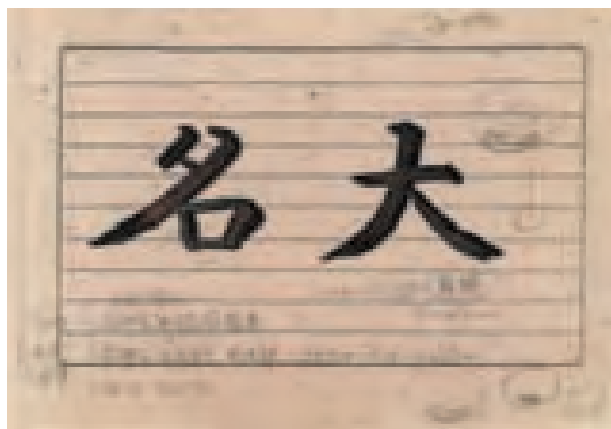
本学構内には数多くのマンホールがあります。それらのマンホールは、形状・大きさともに多種多様で、その設置場所も舗装された道路上のみならず、未舗装の地面や建物内など様々です。現在、その正確な数は明らかでないといわれています。

通常、マンホールカバーには「排水」「雨水」「電気」「通信」などマンホールの用途が鋳出されていますが、学内のマンホールの一部には用途名のほかに「名大」という文字の入ったカバーがあります。この「名大」文字入りマンホールカバーは、1970年代半ば頃に作成された特製品です。当時は、市町村や他大学においても名前入りやロゴ入りの特製カバーが作成されたとのことですが、鋳物が高価で取り引きされた時期であったため盗難防止策として考えられたようです。特製品の場合、1度に2～300個を作成しないとコストが割高になるため、その程度の数が発注されたものと思われます。

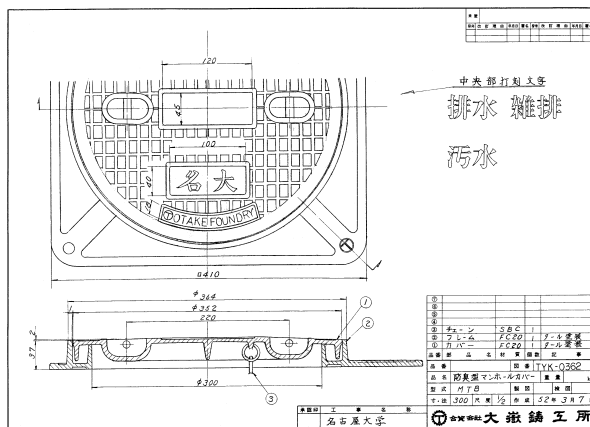
当室には、1977年3月に作成された「名大」文字入りカバーの仕様書（写）とともに、当時の施設部設備課長が揮毫した「名大」鋳出し文字原稿（写）が保管されています。なお、この「名大」文字入りカバーは1991年11月に作成以降、追加作成はされていないとのこと。



「名大」銘入りのマンホールカバー



「名大」鋳出し文字原稿（写）



1977年作成時の仕様書（写）

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、  
大学文書資料室（052-789-2046、[nua\\_office@cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)）へご連絡下さい。




# 名大トピックス

No.134 平成16年7月30日発行 名古屋大学総務企画部総務広報課 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel 052)789-2016  
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

## 第45回名大祭「活 - iki - 」が開催される



### CONTENTS

・第45回名大祭「活 - iki - 」が開催される.....	2	《総長の学内視察》2 鶴舞キャンパス.....	13
・第3回産学官連携推進会議が開催される.....	4	・総長等表敬訪問一覧(平成16年4月～6月).....	14
・ノーベル医学・生理学賞受賞者のイグナロ ルイス ジェイ氏 に名誉博士号を授与.....	5	・博物館が第32回・第33回特別講演会を開催.....	15
 研究 ・生命を持たない生命体 武田 邦彦.....	6	・博物館が第11回コンサートを開催.....	16
・(財)武田科学振興財団研究奨励金の贈呈式が行われる.....	8	・名古屋大学博物館友の会が発足.....	16
・太陽地球環境研究所等が主催する「CAWSES キックオフ 会議」が開催される.....	9	・農学国際教育協力研究センターが2004年度第2回オープン セミナーを開催.....	17
・医学部画像情報外科学(ジョンソン・エンド・ジョンソン) 寄附講座の創設記念式典等を開催.....	10	・構内環境美化運動「キャンパスクリーンウィーク」を実施...	17
・教育学部附属中・高等学校が第2回生徒会フォーラムを開催...	11	・本学で東海地区国立大学法人等新入職員研修を開催.....	18
<b>新コーナー</b>		[ INFORMATION ]	
《総長の学内視察》1 附属農場と太陽地球環境研究所.....	12	・イベント等の開催予定一覧.....	19
		・本学関係の新聞記事掲載一覧(平成16年6月分).....	21

## ②7 八高生青春像 わが友 若き旅人よ

学生帽に学生服、厚いマントを羽織り、高下駄を履いた青年のブロンズ立像（写真 ） この「八高生青春像」は、旧制第八高等学校（八高）の同窓会である八高会が母校創立80年を記念して1988年に名古屋市立大学構内に建立したものです。

本連載の第3回（ 110 ）でも取り上げたように、八高は1949年に本学が新制大学として（再）発足した際に本学に包括された旧制高等学校です。八高の校地・校舎は、創立翌年に愛知郡呼続町大字瑞穂字山ノ畑（現在の名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑）に設けられました。同所は、新制名古屋大学の発足に際して本学の瑞穂分校（教養部）となった後、名古屋市に譲渡されて現在のように名古屋市立大学（名市大）山の畑キャンパスとして利用されています。

八高生青春像の設置場所については、吹上公園内や市立博物館前などが検討されましたが、最終的には名市大山の畑キャンパス内の「剣ヶ森」（八高の校庭跡）に設置することとされました。ブロンズ像の座台には、八高寮歌「光のどけき」の一節から採った題字「わが友 若き旅人よ」が刻まれています。その除幕式は、1988年10月8日に名市大関係者を来賓として八高同窓生約100名が集まって行われました（写真 ）。また、八高生青春像は1/5サイズのミニチュア像（写真 ）も製作され、希望者に頒布されました。

なお、八高生青春像については、「名古屋大学大学史資料室ニュース」第15号（2003年10月刊）で詳細に触れていますので、ご参照ください。



写真 ： 除幕式直後の八高生青春像



写真 ： 像を前に寮歌を合唱する除幕式参加者

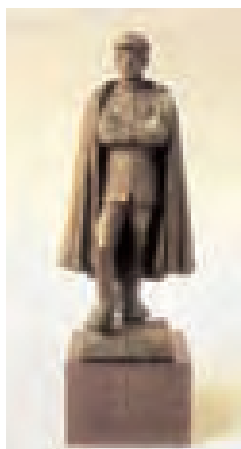
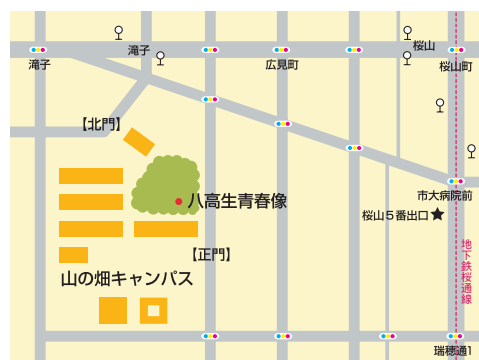


写真 ： 八高生青春像1/5サイズミニチュア



名古屋市立大学のキャンパス

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、  
大学文書資料室（052-789-2046、[nua\\_office@cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)）へご連絡下さい。



# 名大トピックス

No.135 平成16年8月31日発行 名古屋大学総務企画部総務広報課 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te( 052 )789-2016  
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>


## 法科大学院開設記念式典・講演会等が開催される

- 21世紀の社会を担う優れた法曹を養成 -



3年連続「21世紀COEプログラム」、2年連続「特色GP」に採択される(4~9頁)

### CONTENTS

・法科大学院開設記念式典・講演会等が開催される.....	2	・遺伝子実験施設が「Jr.サイエンス教室:遺伝子を見てみよう」を開催.....	18
・平成16年度「21世紀COEプログラム」に採択される.....	4	・博物館が装置開発室を一般公開.....	19
・平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」に採択される.....	7	・農学国際教育協力研究センターが2004年度第3回オープンセミナーを開催.....	19
 研究フォーカス		・附属図書館が今年も「七夕飾り」を催す.....	20
・法律家の専門職技能を科学する 松浦 好治.....	10	・新任部局長等の紹介.....	20
・平野総長が全学教養科目「名大の歴史をたどる」で特別講義...	12	《総長の学内視察》3 大幸キャンパス.....	21
・名古屋大学・愛知県・名古屋市の共同事業が文部科学省の 防災研究成果普及事業に採択される.....	13	《総長の学内視察》4 陸別観測所.....	22
・大学院国際開発研究科が国際協力銀行と協力協定を締結...	14	キャンパスクローズアップ 3 IB 電子情報館.....	24
・大学院文学研究科が外部評価ピア・レビュー委員会を開催...	15	[ INFORMATION ]	
・名大病院・関連病院卒後臨床研修ネットワーク総会を開催...	16	・平成16年度名古屋大学職員創作美術展作品募集.....	26
・「ジェンダーを科学する」出版記念シンポジウムが開催される...	17	・イベント等の開催予定一覧.....	27
		・本学関係の新聞記事掲載一覧(平成16年7月分).....	29

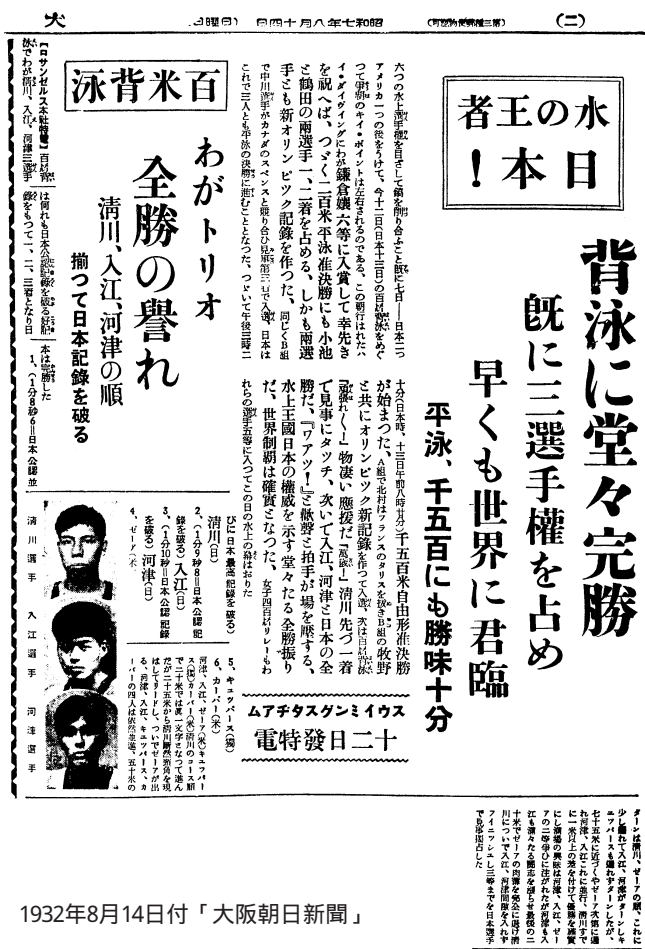
第28回オリンピック（アテネ・オリンピック）の興奮・感動も覚めやらぬ今日この頃です。今回は、オリンピックに関するテーマを紹介します。

今から72年前の1932年、第10回オリンピックがロサンゼルスで開催されました。このロサンゼルス大会では16競技128種目に37ヶ国1328名の選手が参加しました。当時は満州事変などで対日国際世論が厳しい時期でしたが、日本はロサンゼルス大会に192名の大選手団を派遣し、男子競泳6種目中5種目で日本選手が金メダルを獲得して健闘しました。

この金メダル獲得種目の一つである男子100m背泳ぎでは、日本選手が金・銀・銅の3メダルを独占しました。そのとき世界記録に0秒4差の1分8秒6の優勝タイムで金メダルを獲得したのが清川正二です。清川は当時19歳で、本学経済学部の前身校である名古屋高等商業学校（名高商）の3年生でした。また、清川は、1936年のベルリン大会においても同種目で銅メダルを獲得しています。

その後、清川は、1946年から7年間日本水泳チームのヘッドコーチを務め、1969年にはIOC（国際オリンピック委員会）委員に就任、1980年～1983年の4年間はIOC副会長を務め、1999年に86歳でこの世を去りました。

現在、本学経済学部の中庭には、清川金メダル獲得を記念して（社）キタン会が植樹した月桂樹と「清川正二（十回卒）ロサンゼルスオリンピック（第十回）優勝記念」と記された石碑があります。



1932年8月14日付「大阪朝日新聞」



清川正二記念樹と石碑



キャンパスマップ

本連載で紹介できる名古屋大学の歴史に関する情報をお持ちでしたら、  
大学文書資料室（052-789-2046、nua\_office@cc.nagoya-u.ac.jp）へご連絡下さい。





# 名大トピックス

No.136 平成16年9月 日発行 名古屋大学総務企画部総務広報課 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te( 052 )789-2016  
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

## 野依記念物質科学研究館記念式典・記念シンポジウム等が開催される



### CONTENTS

・野依記念物質科学研究館記念式典・記念シンポジウム等が開催される.....	2	・21世紀を拓くカーボン・ナノテクノロジー 篠原 久典...	20
・名古屋大学説明会が開催される.....	4	・工学部がテクノフロンティアセミナーを開催.....	22
・シドニー大学との共催で第2回 AC21国際フォーラムを開催.....	6	・工学部がテクノサイエンスセミナーを開催.....	23
<b>〔21世紀 COE プログラム〕</b>		・年代測定総合研究センターが大学 Jr. サイエンス「石がいつできたか調べよう」を開催.....	24
・「21世紀 COE プログラム」の採択にあたって		・大学院多元数理科学研究科が「数学アゴラ」を開催.....	25
総長 平野 眞一.....	7	・医学部・医学系研究科が教育外部評価報告書を刊行.....	26
・「計算科学フロンティア」		・工学部化学・生物工学科分子化学工学コースが「化学プロセスセミナー」を開講.....	27
金田 行雄.....	8	・博物館が第34回特別講演会を開催.....	28
<b>〔特色ある大学教育支援プログラム〕</b>		・農学国際教育協力研究センターが2004年度第4回オープンセミナーを開催.....	28
・「教員の自発的な授業改善の促進・支援 - 授業支援ツールを活用した授業デザイン力の形成 - 」		<b>〔INFORMATION 〕</b>	
黒田 光太郎.....	10	・アートとレクチャーの10日間を開催.....	29
・平野総長が第3回日中学長会議に出席する.....	12	・「附属図書館2004年秋季特別展」開催.....	30
・テクノ・シンポジウム名大が開催される.....	13	・「第4回名古屋大学博物館企画展・講演会」.....	31
・第15回日本数学コンクール・第8回日本ジュニア数学コンクールを開催.....	14	・イベント等の開催予定一覧.....	32
・文学部が木浦大学校夏期日本語研修生を受け入れる.....	17	・本学関係の新聞記事掲載一覧(平成16年8月分).....	34
<b>〔研究ナウ〕</b>			
・経済学に残されたフロンティア 『家計』における男女構成員間の相互依存の研究 荒山 裕行.....	18		

## ②9 工学部旧1号館（南棟） - 東山地区最初の鉄筋コンクリート建物 -

現在、本学の工学部・工学研究科は、東山キャンパスの北側部分を中心に1号館～9号館およびIB電子情報館などの施設を持っています（下図）。このうち最も新しい建物は地下鉄「名古屋大学」駅3番出口の北側にあるIB電子情報館（北棟と南棟）で、この建物は2001年度国立学校優秀施設表彰の計画部門で文教施設部長賞を受賞しています。

ところで、今から53年前の1951年、ちょうどIB電子情報館南棟が建っている場所に東山地区として記念すべき一つの建物が竣工しました。工学部旧1号館がそれです（写真1）。

工学部旧1号館は、東山地区最初の鉄筋コンクリート造として戦時下の1943年夏に建設が始まりました。しかしその後、基礎の掘削とコンクリート板枠工事が完了した段階で資材不足等のため工事が進まない状態になり、さらに1945年5月の名古屋空襲の際にその基礎板枠のすべてを焼失してしまいました。そして、工学部旧1号館の建設工事が再開されたのは終戦後の1950年のことでした。

本学東山地区で最も古い鉄筋コンクリート造であった工学部旧1号館は、2002年9月に取り壊されています（写真2）。なお、工学部旧1号館が存在しなくなった現在、東山地区で最も古い鉄筋コンクリート建物は1958年に竣工した理学部A館となっています。



工学部建物配置図



写真1：完成間近の工学部旧1号館



写真2：取り壊し前の工学部旧1号館（2001年）

本連載で紹介できる名古屋大学の歴史に関する情報をお持ちでしたら、  
大学文書資料室（052-789-2046、[nua\\_office@cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)）へご連絡下さい。



# 名大トピックス

No.137 平成16年10月30日発行 名古屋大学総務企画部総務広報課 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016  
http://www.nagoya-u.ac.jp

## 「あいち男女共同参画社会推進・産学官連携フォーラム」設立記念 男女共同参画社会推進シンポジウムが開催される



「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」及び  
「海外先進教育研究実践支援プログラム」に採択される（4～7頁）

### CONTENTS

・「あいち男女共同参画社会推進・産学官連携フォーラム」設立記念男女共同参画社会推進シンポジウムが開催される...	2	・大学院情報科学研究科が公開セミナーを開催.....	18
・平成16年度「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」に採択される.....	4	・オープンカレッジ「自由奔放！サイエンス」が開催される.....	19
・平成16年度「海外先進教育研究実践支援プログラム」に採択される.....	7	・大学院環境学研究科が創設後初めての外部評価委員会を開催...	20
・平野総長と山本副総長がパリ第7大学及びボンゼショセ工科大学を訪問.....	8	・医療安全講演会が開催される.....	21
・大学院留学生特別コース学位記授与式を挙行.....	10	・博物館が「戦前の脳外科手術フィルム」の寄贈に対して武田薬品工業に感謝状を贈呈.....	22
・大学院文学研究科が21世紀 COE プログラム「統合テキスト科学の構築」第4回国際研究集会を開催.....	11	・大学院生命農学研究科が農業ふれあい教室を開催中.....	22
・泉文部科学省審議官が本学を訪問.....	12	・附属農場が平成16年度農業教育公園・講演会の第1回を開催...	23
・「東海医療情報ネットワークコンソーシアム」設立式典及び設立記念シンポジウムが開催される.....	13	・農学国際教育協力研究センターが2004年度第5回オープンセミナーを開催.....	23
・エコトピア科学研究機構が寄附研究部門の創設記念式典等を開催.....	14	・平成16年度職員体育大会が開催される.....	24
・祝！全日本大学駅伝に出場決定.....	15	[ 新任部局長等の紹介 ].....	24
[ 研究ナウ ]		[ 名大を表敬訪問された方々 ]平成16年7月～9月.....	25
・乾燥地を中心とした人類文明史像の再構築 嶋田 義仁.....	16	[ キャンパスクローズアップ ] 4 理学館.....	26
		[ INFORMATION ]	
		・名古屋大学関西フォーラム.....	28
		・イベントカレンダー.....	29
		・本学関係の新聞記事掲載一覧（平成16年9月分）.....	32

## ③〇 齋藤 眞（さいとう・まこと） 日本における脳神経外科学のパイオニア

齋藤眞（1889～1950年）は、1911（明治44）年に第二高等学校を卒業後、東京帝国大学医科大学医学科に入学しました。そして1915（大正4）年に同医学科を卒業、翌年には東京帝国大学医科大学副手になるとともに医師免許証を下付されています。齋藤が、本学医学部の前身である愛知県立医学専門学校の講師ならびに県立愛知病院の外科第二部長心得に就任したのは1917年のことでした。

齋藤の専門は脳外科学で、1920年には同医学専門学校教授ならびに同愛知病院外科第二部長職を依願退職したのち、自費でヨーロッパへ渡航し、1924年に帰国するまでウィーン大学、ベルリン大学、パリ大学で病理学と脳外科学の研究に従事しました。この間、齋藤は1922年に愛知医科大学教授に就任しています。

帰国後も、齋藤は脳神経外科における数多くの優れた研究業績を上げ、1929（昭和4）年8月には、ハワイ・ホノルルで開催された第1回汎太平洋外科学会に日本代表として出席し、自身の手になる脳外科の映像を披露しています。また、齋藤は医学教育や学会活動にも意欲的で、1948年には現在の日本脳神経外科学会の前身である日本脳神経外科研究会の発足に尽力し、1949年の第3回総会まで同研究会の会長を務めました。

なお、本学の博物館では現在、齋藤眞の生涯・研究業績と当時の名大医学部の歴史を取り上げた第4回企画展「日本脳神経外科学の開拓者 齋藤 眞」（10/13～11/12）を開催しています。



齋藤 眞（1949年撮影）



齋藤の設計による外科講堂での臨床講義風景



博物館「齋藤眞」展ポスター

本連載で紹介できる名古屋大学の歴史に関する情報をお持ちでしたら、  
大学文書資料室（052-789-2046、[nua\\_office@cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)）へご連絡下さい。